

学校に行ってみたよ！

昨年度より11月1日から7日まで、多くの方々に学校教育に理解を深めてもらうために地域が育む「かごしまの教育」県民週間が制定されました。

各学校では、この週間に合わせて地域の方や保護者を対象としたいろいろな行事が実施されましたが、今回その一部についてご紹介いたします。

高齢者と楽しく交流！

11月2日、中津川小学校で高齢者と児童のふれあい活動が開催されました。

これは、昔の遊びやグラウンドゴルフを一緒にこない児童と高齢者の交流を深めるものです。

屋外でこままわしをおこなった児童は、高齢者からこまの回し方を習うと、「勝負！勝負！」とみんなで一生懸命楽しんでいました。

また屋内では高齢者と一緒に折り紙やお手玉を勉強

するなど、短い時間でしたが楽しく過ごしました。



▶竹とんぼの製作をする児童

みんなの楽しいお祭り

11月5日、永野小学校で恒例の第8回永野まつりが開かれました。

児童はそれぞれ工夫して作った手作りのみこしを担ぎ「わっしょい！わっしょい！」と元氣よく校庭を練り歩きました。また今回は保護者も、みこしをかっついで登場。兵児踊りも披露され会場はとても盛り上がりました。

またその後、自分たちが育てた花苗や野菜の販売も

あり、地元の方で賑わっていました。



▶花苗・野菜を売る児童

本に親しもう

11月5日、求名小学校で読書月間の取り組みの一環として、保護者の読み聞かせがおこなわれました。

この取り組みは今回初めておこなわれたもので、当日は一〜三年生の各教室で4名の保護者が「ジャックと豆の木」など紙芝居と、町の昔話を読み聞かせ、また児童もとても真剣な様子で話に聞き入っていました。保護者は「読むのに必死で、子どもの様子を見る余裕がなかったが、親も楽しめた。」と好評でした。



▶保護者の読み聞かせの模様

カラフルひょうたん！

11月4日、中津川小の六年生14名がひょうたんへの絵付けをおこないました。

当日は北方町の森永信義さんを講師に招き、指導を受けながらひょうたんに思いの絵を描きました。ひょうたんの絵付けは、下絵の下にカーボン紙を敷きひょうたんに絵を描き、その上から絵の具で色づけをするものです。

独創的で感性豊かな児童の作品に、森永さんも「う

まい」と誉めていました。



▶児童に指導する森永さん